

祝

令和8年

富津市二十歳の集い

令和8年1月11日(日)



We ♥ Futtsu

会場 富津市富津公民館ホール

開式 午後2時(開場 午後1時15分)

主催 富津市・富津市教育委員会・

富津市二十歳の集い実行委員会

式次第

- | | |
|--------------------|------------|
| 一、開式のことば | 高梨 陸 |
| 一、国家斉唱 | 指揮:山之内 完爾 |
| | 伴奏:綾部 莉子 |
| 一、主催者代表式辞 | 富津市長 高橋 恭市 |
| 一、来賓祝辞 | |
| 衆議院議員 | 浜田 靖一 様 |
| 千葉県議会議員 | 渡辺 務 様 |
| 富津市議会議長 | 平野 英男 様 |
| 一、主催者及び招待者紹介 | 浅倉 和達 |
| 一、祝電披露 | 山之内 完爾 |
| 一、実行委員長挨拶 | 牧野 耕大 |
| 一、記念行事「ふっつ×世代ビンゴ！」 | |
| 一、閉式のことば | 高梨 陸 |
| 一、地区別記念写真撮影 | |

お祝いのことば

令和8年の新春を迎え、本日晴れやかに二十歳の集いを迎えられた皆さん、心よりお祝い申し上げます。

また、これまで温かい愛情とご尽力をもってお子さんを支え育ててこられたご家族の皆様にも、深く敬意を表し、あわせてお喜び申し上げます。



いま世界は、地球温暖化や自然災害の多発、エネルギー問題など、かつてない環境の転換期にあります。また国内では、少子高齢化や地域、産業の担い手不足が進み、社会全体が持続可能な未来のあり方を問い直しています。

一方で、AIやデジタル技術の急速な進化は、皆さんの生き方や働き方に新たな可能性をもたらしています。

皆さんには、このような希望と不安が入り混じる今の時代だからこそ、自らの可能性を信じ、挑戦する心を持ち続けてください。そしてこれからも、人と人との出会いや繋がりを一層大切にし、社会人として力強く人生を切り拓いていってほしいと思います。

また、こうして皆さんが今日まで健やかに成長できたのは、ご家族をはじめ、ご友人、先生や地域の方々など、多くの人たちの支えがあったからこそです。どうかこれからも敬意と感謝の気持ちを忘れずにいてください。

二十歳という人生の節目を迎えた皆さんが「富津市に生まれてよかった」「富津市で育って良かった」という誇りと愛着を胸に、次の世代へバトンをつなぐ存在へと成長されることを願っています。

結びに、本日ご出席の皆さんの人生が、希望にあふれた素晴らしいものでありますよう、心からお祈り申し上げましてお祝いのことばといたします。

令和8年1月吉日

富津市長 高橋 恭 市

二十歳を迎えられた皆さんへ

二十歳を迎えられた皆さん、おめでとうございます。
保護者の方も皆さんの成長を心から喜んでいること
でしょう。久しぶりに友達や中学校時代の先生方と会
って、たくさんの楽しい思い出がよみがえってきたの
ではないでしょうか。



しかし、中学生の時には新型コロナウイルスが流行
したため、楽しみにしていたいくつかの行事が中止に
なりました。さぞ、悔しく残念な思いをしたことでしょう。それでも、悔
しかったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、うれしかったこと、そ
ういった経験を経たからこそ今の皆さんがあるのです。だから、今まで過
ごしてきた時間、そのすべてが尊いのです。

先日読んでいた本の中に次のような詩がありました。二十歳の記念にこ
の詩を紹介して、私からのお祝いの言葉といたします。

大人はええぞ。

まずな、宿題がない。うまいもんが食える。な、ええやろ。

やりたいことができる。好きな仕事を選べる。じぶんでお金をかせげる。

好きな人と結婚できる。ええやろ？

それからいちばんええのはな、大人になってからでも いくつになっ
ても なんぼでも やりなおしがきくことや。

好きなこと、やったらええ。

楽しみやなあ。

出典：「毎日読みたい 365 日の広告コピー」株式会社ライツ社 作：古川雅之氏

子どものころ、「大人はいいなあ」と思ったことが誰にでもあるのではな
いでしょうか。皆さんは、あの時憧れた大人になったのです。自分で考え、
判断し、行動できる自由を手に入れたのです。だから、悔いのないように
生きてください。時には思い通りにいかなくて、挫折することもあるでし
ょう。それでもこの詩にあるように「いくつになっても なんぼでもやり
なおしがきく」はずです。勇気をもって好きなことに挑戦してください。

皆さんの益々のご活躍とご多幸を祈念いたします。

令和 8 年 1 月 吉日

富津市教育長 山下 秋一郎

実行委員からの一言メッセージ

実行委員長 牧野 耕大（大佐和中学校出身）



皆様とともに二十歳という節目を迎えられることを心から嬉しく思います。

二十歳を無事に迎えることができたのは、家族をはじめとした周囲の人の支えがあったからです。本日は、これまで支えてくださった方への感謝の気持ちを忘れずに、皆さんの心に残る式典となるよう、精一杯務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

最後になりますが、「二十歳の集い」に携わってくださったすべての方々に感謝申し上げます。

副実行委員長 浅倉 和達（天羽中学校出身）

本日は「二十歳の集い」への参加、誠にありがとうございます。久々の友との再会を前に昨晚なかなか眠れなかった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。久々に会った友と楽しい時間を共に過ごし、数々の思い出に浸ってみてください。また、ここまで支えてくれた方たちへの感謝を口に出して伝えてみてはいかがでしょうか。



人生で一度きりのこの式を最高の思い出にできるように全力を尽くします。本日はよろしくお願いいたします。

実行委員 本間 竜（富津中学校出身）



本日は「二十歳の集い」にお集まりいただきありがとうございます。二十歳という節目をお祝いする式典を実行委員として開催できることを嬉しく思います。

この式典を通してみなさんの夢を叶えるきっかけとなればと思っています。よろしくお願いいたします。

実行委員 山之内 完爾（富津中学校出身）

本日は「二十歳の集い」に参加していただき誠にありがとうございます。この度このような式を皆様と共に無事迎えることができ、大変嬉しく思います。人生の節目として心に残る良い式となればと思っています。

最後になりますが、今まで支えてくださった、先生方や地域の皆様、また家族や友人に心から感謝申し上げます。



実行委員 深田 敦也（富津中学校出身）



この度は「二十歳の集い」へのご参加、誠にありがとうございます。この日を迎えることができたのは、今まで支えてくれた家族や先生、共に歩んできた友人の存在があってこそだと感じています。そんな方々や、式に携わっていただいた方々への感謝の気持ちを胸に、皆さんの思い出に残る式となるよう努めさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

実行委員 平野 美月（富津中学校出身）

この度は「二十歳の集い」へのご参加、ありがとうございます。皆様と特別な日を祝うことができ、大変嬉しく思います。今日を迎えることができたのは、これまでを支えてくれた方々や二十歳を迎える皆様一人一人の力があるからだと思います。この式典が皆様の心に残るよう、これまでの感謝の気持ちと共に精一杯務めさせていただきます。



実行委員 高梨 陸（大佐和中学校出身）



この度は「二十歳の集い」へのご参加、誠にありがとうございます。皆様と共に二十歳を迎えられることを心から嬉しく思います。

こうして私たちが二十歳を迎えることができたのは家族や友人、先生方などの支えがあったからでもあります、1番は一人一人が頑張ってきたからだと思います。

そんな式典を皆様にとって思い出深い一日となるよう精一杯努めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

実行委員 綾部 莉子（大佐和中学校出身）

本日は、お忙しい中お越しいただき、誠にありがとうございます。今日が私たちにとって、この先の毎日が少しでも明るく前向きになるきっかけになればと思い、実行委員一同、心を込めて準備してまいりました。

久しぶりに集まれるこの時間が、皆さまにとってあたたかく、楽しいひとときとなれば嬉しく思います。



実行委員 黒石 海希（天羽中学校出身）



二十歳を迎えられた皆さん、おめでとうございます。家族を始め、ここまで支えてくれた方々あってこそ、今日を迎えることが出来ています。今、感謝の気持ちでいっぱいです。二十歳を迎えた喜びを共に分かち合い、輝かしい未来へと歩んでいきましょう。

この式典が良い思い出として残せるよう、精一杯努めさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

実行委員 星野 花奈（天羽中学校出身）

二十歳という大きな節目を迎え、これまでの道のりを支えてくれた家族や友人への感謝の気持ちを改めて深く感じています。大人としての新たな挑戦が始まるこの特別な日に、皆さんと共に喜びを分かち合えることをとても嬉しく思います。この集いが、みなさんの心に残る温かい思い出になるよう精一杯努めてまいります。



実行委員 村石 ゆい（天羽中学校出身）



本日、皆様とともにこの晴れの日を迎えられたことを、心よりうれしく思います。これまでの二十年間で培った大切な思い出や感謝の気持ちを胸に、新たな一歩を踏み出しましょう。

実行委員一同、心を込めて式典の準備を進めてまいりました。皆様にとって笑顔あふれる素敵な一日となりますよう、精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

富津市民憲章

美しい海と山にかこまれ、緑と太陽に恵まれた、文化遺産豊かな歴史のふるさとに住むわたくしたち富津市民は、生々発展する新しいまちづくりのために努力することを誓って市民憲章を定めます。

- 1 恵まれた自然を生かし、美しいまちをつくりましょう。
- 1 友愛と感謝の気持ちで、明るいまちをつくりましょう。
- 1 としよりやこどもを大切にし、幸せなまちをつくりましょう。
- 1 健康で仕事に励み、豊かなまちをつくりましょう。
- 1 教養を高め、文化の香り高いまちをつくりましょう。

昭和49年10月1日制定

富津市家庭憲章

次代を担う青少年が健やかにたくましく育つことは、われわれ市民の共通した願いです。その願いを込めて、この富津市家庭憲章を市民運動として展開し、明るく健康的な家庭をつくりましょう。

- 1 あいさつは、きちんとはつきりいましょう。
- 1 家庭では、なんでも話しあいましょう。
- 1 心と体をきたえ、みんなでなかよくしましょう。
- 1 感謝と奉仕の心をもちましょう。
- 1 社会のきまりを守り、責任のもてる行動をしましょう。

昭和59年2月制定



富 津 市

富津市教育委員会

富津市二十歳の集い実行委員会